

## 基本目標 1 男女の人権の尊重と男女平等意識の確立

### 主要課題 1 男女共同参画を推進する教育・学習の充実

施策の方向	具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効 果
1 学校教育における男女共同参画を推進する教育・学習の充実	1 教育活動全体を通じた人権教育の実施 《概要》 各教科の指導，学級活動，その他教育活動全体を通して，人権を尊重する意識や態度を育てる。男女混合名簿を採用する。	継続	市内小・中学校で男女混合名簿を採用している。係・委員会活動等で男女の共同活動を積極的に実施した。	指導室	2	c , g
	2 道德教育を通じた男女平等教育の実施 《概要》 道德の時間における人権教育を実施する。	継続	学習指導要領の道德の領域，特に内容項目 2「主として他人とのかかわりに関すること」にポイントをおいた指導をし，児童・生徒において人権尊重の意識が高まってきている。	指導室	2	b , c , g
	3 総合的な学習の時間を通じた人権教育の実施 《概要》 市内小中学校の総合的な学習の時間においてゲストティーチャーを調整，支援する。	継続	市内小・中学校の総合的な学習の時間において，指導者の調整・支援を行った。 17年度は4小・中学校より依頼があり，福祉分野についてゲストティーチャーや指導者の調整を行い，支援を行った。今後は学校教職員に対しても実施していきたい。(5/24 6/22 7/5 11/2 開催)	社会福祉協議会	2	b , e , g

	4 教職員への平等教育の徹底 《概要》 男女平等観の向上を目指し、教職員の研修の充実を図る。	継続	各校毎に人権教育全体計画を見直すことで、人権に対する意識の高揚を図った。また、8月には今年度守谷市への新規転入職員と各校人権教育担当職員を対象に人権に対する研修を行った。 訪問の際には「三ない運動（飲酒、体罰、セクハラの防止）」を呼びかけ、周知徹底に心がけた。 対象者数 男性 125 名 女性 158 名	指導室	2	c , g
			同和教育講演会の実施 日 時 平成 17 年 8 月 5 日（金） 場 所 守谷市中央公民館ホール 講 師 田中昭紘氏 （財）大阪生涯職業教育振興協会理事長 演 題 「かがやけ人権 人権尊重の社会を目指して」	くらしの支援課	1	b , g
	5 家庭科教育の充実 《概要》 共修による家庭科教育を通して、家族や子育てについての学習を図る。	継続	必修による家庭科教育を通して、家庭のあり方や家族の人間関係、子育てなど、家庭生活における協同、協力の意義を理解し、実践しようとする意欲を高める取り組みを実施した。 対 象 市内小学校 5 ～ 中学校 3 年生	指導室	2	b , c , f , h

2	家庭・地域における男女共同参画を推進する教育・学習の充実	6	子育て・仲間づくりセミナーの実施 《概要》 子どもを持つ親のための学習会を開催し、学ぶことを通して親同士の仲間意識を高め、交流を深める。	継続	子どもの幸せ、子どもの成長を願って、家庭の教育力を高めるためには、親としての自覚・資質向上が望まれる。このセミナーが、「子育て支援、仲間づくり」の一環として、少しでも役立てればという願いを込め、守谷市のエンゼル・サポートプランに基づいて開設している。 内容的には、子育ての諸問題について学ぶと共に、親たちの仲間意識を高め、交流を深めていくことを目的としたものとなっている。 男性も参加可能であるが、実際は女性のみである。 ・対象者 小中学校全学年の保護者（学年は各学校で決める） ・期間・回数 5月～3月（10回前後）	生涯学習課	3	g
		7	合同家庭教育学級の開催 《概要》 小学校、中学校と連携した子育て支援や家庭教育に関する学習会を開催する。	継続	子どもの幸せ、子どもの成長を願って、家庭の教育力を高めるためには、親としての自覚・資質向上が望まれているが、その一助として、各小中学校で「子育て・仲間づくりセミナー」を開催している。また、各小中学校の受講生どうしの交流を図り、家庭教育上の諸問題について語り合うために、年1回合同のセミナーを開催している。内容は分科会・全体会・講演会である。 男性も参加可能であるが、実際は女性のみである。 ・対象者「子育て・仲間づくりセミナー」受講生 ・実施日 10月19日（水）	生涯学習課	3	g

<p>8 両親学級の実施</p> <p>《概要》</p> <p>妊婦とその家族を対象とした妊娠・出産・育児に関する講義や実習を行い、パートナーとの関係を見つめ直し、尊重し合うことの大切さや夫婦の協力について考えるきっかけづくりをする。</p>	継続	<p>両親学級20回開催</p> <p>参加者数 283名（内父親参加数 79名）</p> <p>夫婦のコミュニケーションや妊婦体験の内容を行う回では、母親94名、父親79名が参加した。</p> <p>アンケートで妊婦体験・コミュニケーション・沐浴などで夫婦共満足感が高く、実践したいという人の声が多かった。</p>	保健センター	1	c , h
<p>9 子育てハンドブック作成・配布</p> <p>《概要》</p> <p>母子健康手帳交付時に、子育てハンドブックを配布し、家庭における子育ての情報提供をする。</p>	継続	<p>支援事業を行っている各機関（児童福祉課，児童館，ファミリーサポートセンター，家庭児童相談室，保健センター，ねっこ（まつやま保育園），アビエス（わかばのもり保育園），夢っ子ひろば（守谷市子育て支援センター））が連携し，平成15年6月に発行した地域の子育て中の親子への子育て情報誌『子育てトライアングルブック』の内容が一部変更され，改訂版を発行した。</p> <p>1．500部発行し，地域の各公民館，市役所，保健センター，地域子育て支援センターなどの支援事業所に置く。</p> <p>2．保健センターの母子健康手帳配布時に一緒に配布する。</p>	児童福祉課	1	c , h

	10 男性を対象とした料理講座 の開設 《概要》 男性を対象とした，簡単な料理法 を習得できる講座を開設する。	継続	郷州公民館講座 パパのためのパン作り教室 参加者：男性11名・女性3名 大野地区公民館講座 男の腕まくり料理教室 参加者：男性5名・女性8名 北守谷公民館講座 男の料理教室3回	生涯学習課	2	c , f , h
	11 地域活動における男女共同 参画の推進 《概要》 男女が共に自治会活動・コミュニ ティ活動へ参画することを促進す るための啓発を行う。	新規	人のつながりのある住みよいまちづくりを目指 し，自治会，町内会及び地域活動団体が自主的に， 環境保全，環境美化，交通安全，防犯，防災，地 域活性化などの様々な活動を行っており，男女が 共に計画段階から関わり，活躍している。 また市では，災害時等において地域の連携が重要 視されていることから，文書等の配布をとおして， 普段から地域のコミュニケーションを図り，安 心・安全な地域づくりを目指すことを目的に，今 後さらに自治会加入率がアップすることを促進し ている。	くらしの支援課	2	c , e
3 社会におけ る男女共同 参画を推進 する教育・学 習の充実	12 生涯学習推進体制の充実 《概要》 生涯学習推進のため，諸施策につ いて検討し，充実を図る。	継続	「いつでも，どこでも，誰でも」できる生涯学習 をPRし，多くの市民に親しんでもらうこと，ま た，社会教育施設における，計画的，効率的な運 営を推進し，多様な活動を行えるような学習環境 を整備することを推進し，あらゆる年代の男女の 生涯学習への参加促進を図っている。	生涯学習課	2	e , g

<p>1 3 生涯学習フェスティバルの開催</p> <p>《概要》</p> <p>市民の自由参加のもと，市内で行われている学習活動などを通じて，生涯学習の輪を広げることを目的に開催する。</p>	継続	<p>10.30 生涯学習フェスティバルの実施</p>	生涯学習課	4	e
<p>1 4 地区公民館運営協力員の設置</p> <p>《概要》</p> <p>地区公民館事業に関する企画・立案をし，地域にあった公民館事業の展開を図る。</p>	継続	<p>地域より選出された地区公民館長と運営協力員が中心となり地域ごとに特色ある事業を展開し，身近な学習活動の場として定着している。</p> <p>守谷地区公民館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しい美味しいヘルシー料理教室</li> <li>・ ふれあい移動教室</li> <li>・ 歴史講座「ＴＸ開業・歩いてみよう浅草探訪」</li> <li>・ 芸術文化学習会</li> <li>・ 野鳥観察・里山散策教室</li> <li>・ やさしい守谷の歴史</li> </ul> <p>大野公民館事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども科学実験教室</li> <li>・ 健康体操教室</li> <li>・ 移動教室</li> </ul>	生涯学習課	2	b , c , g

15 女性セミナーの充実 《概要》 体験学習や講座を通し，参加者相互の交流を図る。	継続	市内在住・在勤の女性を対象に、戸外で体を動かしたり芸術や文化を学ぶ機会を提供しています。 参加者：女性 28 名 実施内容 <table><tr><th>日 時</th><th>学 習 内 容</th></tr><tr><td>5 / 11</td><td>開校式、オカリナ演奏「山田恭弘と仲間たち」</td></tr><tr><td>6 / 8</td><td>毎日を快適に（気功）</td></tr><tr><td>7 / 13</td><td>電気の未来と節電の大切さ</td></tr><tr><td>9 / 14</td><td>守谷の歴史を学ぶ</td></tr><tr><td>10 / 12</td><td>気軽にできる美味しいパスタ料理</td></tr><tr><td>11 / 9</td><td>関東の小京都「とちぎ」を訪ねて</td></tr><tr><td>12 / 7</td><td>守谷の伝統を継ぐ（しめ縄づくり）</td></tr><tr><td>1 / 11</td><td>すてきな自分を見つけるために</td></tr><tr><td>2 / 8</td><td>文学に親しむ「朗読を聞く」</td></tr><tr><td>3 / 15</td><td>閉校式：次年度の計画ほか</td></tr></table>	日 時	学 習 内 容	5 / 11	開校式、オカリナ演奏「山田恭弘と仲間たち」	6 / 8	毎日を快適に（気功）	7 / 13	電気の未来と節電の大切さ	9 / 14	守谷の歴史を学ぶ	10 / 12	気軽にできる美味しいパスタ料理	11 / 9	関東の小京都「とちぎ」を訪ねて	12 / 7	守谷の伝統を継ぐ（しめ縄づくり）	1 / 11	すてきな自分を見つけるために	2 / 8	文学に親しむ「朗読を聞く」	3 / 15	閉校式：次年度の計画ほか	生涯学習課	3	g
日 時	学 習 内 容																										
5 / 11	開校式、オカリナ演奏「山田恭弘と仲間たち」																										
6 / 8	毎日を快適に（気功）																										
7 / 13	電気の未来と節電の大切さ																										
9 / 14	守谷の歴史を学ぶ																										
10 / 12	気軽にできる美味しいパスタ料理																										
11 / 9	関東の小京都「とちぎ」を訪ねて																										
12 / 7	守谷の伝統を継ぐ（しめ縄づくり）																										
1 / 11	すてきな自分を見つけるために																										
2 / 8	文学に親しむ「朗読を聞く」																										
3 / 15	閉校式：次年度の計画ほか																										
16 もりやいきいきライフリーダーバンクの設置 《概要》 青少年活動や料理，語学，人形劇，スポーツなど多様な指導者を登録し，利用者に応じた指導を行う。	拡充	いきいきライフリーダーバンクに登録していただいた方々をホームページや案内誌に掲載し、市事業の講座や教室、または市民の必要に応じ専門分野の指導をする。	生涯学習課	3	g																						

	17 男女共同参画推進の拠点機能の整備 《概要》 男女共同参画推進のための拠点機能のあり方を検討する。	新規		くらしの支援課	5	
	11（再）地域活動における男女共同参画の推進	新規		くらしの支援課		

## 主要課題2 男女共同参画の理解の促進と意識の改革

施策の方向	具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
1 男女共同参画に関する意識啓発	18 男女共同参画に関する情報の提供 《概要》 図書，資料，国・県・他自治体，大学等の情報の資料，ビデオ等の整備を図り，情報を提供する	新規	情報提供の一環として，内閣府等から配布されたビデオの貸し出しを行っている。また，中央図書館とくらしの支援課との連携により，必要に応じて関連図書の整備を図っている	くらしの支援課 中央図書館	4	c , g
	19 男女共同参画推進員との連携による広報・啓発活動の実施 《概要》 茨城県が設置する男女共同参画推進員と連携を図り，広報・啓発活動を行う。	新規	市主催，県主催の研修会等の参加を通して，情報の共有を図った。	くらしの支援課	4	e



20 講演会・フォーラムの実施 《概要》 市民の男女共同参画に対する関心を高めるために開催し、積極的な啓発を図る。	拡充	17年度は目的を「意識啓発」「法令の周知」においた。「意識啓発」では、一人ひとりが男女共同参画について、できるところから行動していけるよう考えていただくことができ、参加者からは、「自分は何ができるのだろうとむずかしく考えていたが、まず自分の家庭から見つめ直していけば良いのだということを知ることができた。」「社会の仕組みの変革は、私たちの力、地域ぐるみの力が大切だと学んだ。」などの前向きな声を聞くことができた。「法令の周知」では、参加者に基本法を知ってもらい、法律を読み解き、身近にできる取り組みについて考えていただいた。 <table><tr><td>10月15日 (土)</td><td>男女共同参画社会基本法学習会</td><td>男性4名 女性26名 計30名</td></tr><tr><td>11月</td><td>男女共同参画に関する標語募集</td><td>男性17作品 女性32作品 計49作品</td></tr><tr><td>11月19日 (土)</td><td>ハーモニーセミナー(ドイツ料理教室)</td><td>成人男女 6組</td></tr><tr><td>1月29日 (日)</td><td>男女共同参画フォーラム</td><td>男性14名 女性57名 計71名</td></tr></table>	10月15日 (土)	男女共同参画社会基本法学習会	男性4名 女性26名 計30名	11月	男女共同参画に関する標語募集	男性17作品 女性32作品 計49作品	11月19日 (土)	ハーモニーセミナー(ドイツ料理教室)	成人男女 6組	1月29日 (日)	男女共同参画フォーラム	男性14名 女性57名 計71名	くらしの支援課	2	a, b, c, g
10月15日 (土)	男女共同参画社会基本法学習会	男性4名 女性26名 計30名															
11月	男女共同参画に関する標語募集	男性17作品 女性32作品 計49作品															
11月19日 (土)	ハーモニーセミナー(ドイツ料理教室)	成人男女 6組															
1月29日 (日)	男女共同参画フォーラム	男性14名 女性57名 計71名															

2	多様な媒体を通じた広報・啓発活動の推進	2 1 男女共同参画の視点に立った広報紙・ホームページ等の作成 《概要》 広報もりや、ホームページ上に国・県の動きや各種相談業務、女性情報などを掲載する。	継続	広報もりや（毎月10号）への「男女共同参画コラム」で各種講座等の募集、啓発記事を掲載した。ホームページではコラムと同時進行で、各種講座等の募集、フォーラムの様子などを掲載した。また、「男女共同参画推進計画」の本文を掲載し、広く市民等にPRした。	くらしの支援課	2	a , c , g
		2 2 男女共同参画に関するリーフレットの作成 《概要》 男女共同参画に関する情報をリーフレットにまとめ、意識啓発を図る。	新規	男女共同参画フォーラム開催時（1月29日）に参加者に配布し、以後、窓口で配布している。内容は、『家事は家族みんなの協力で！』『第二の人生は地域活動から！』『仕事も家庭もバランスよく！』の生活に密着した3つをテーマに、男女共同参画社会の実現を呼びかけている。今後も推進状況を見て、随時、内容の見直しを図っていく。			
3	男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し	2 3 男女共同参画に関する法令等の周知 《概要》 「男女共同参画基本法」等の周知を図る。	新規	法令の周知として、男女共同参画社会基本法学習会を開催し、参加者には、「男女共同参画社会基本法」の条文を読み解きながら、男女共同参画によって私たちの暮らしがどう変わるのか、私たちに何ができるのか、身近にできる取組みのヒントを学び、考えていただくことができた。 参加対象者は、市民、事業者、議会議員など。 開催日 10月15日（土） 講師 茨城大学研究員 渡辺七子氏 参加人数 男性4名・女性26名・計30名	くらしの支援課	2	a , b , c , d , e , f , g , h

	2 4 男女共同参画に関する法律 や制度理解のための講座の 開設 《概要》 男女共同参画に関する法律や制度 を正しく理解するための講座を開 設する。	新規	法令の周知として、男女共同参画社会基本法学習 会を開催した。	くらしの支援課	3	a , b , c , d , e , f , g , h
	2 5 社会制度や慣行に関する調 査・研究 《概要》 男女共同参画の視点で社会制度や 慣行について調査を行う。	新規		くらしの支援課	5	
4 男女共同参 画推進条例 制定・宣言実 施に向けて の研究	2 6 男女共同参画推進条例の研 究 《概要》 男女共同参画社会を形成するた めの基礎的条件づくりとして、条例 制定に向けた研究・検討を行う	新規		くらしの支援課	5	
	2 7 男女共同参画都市宣言実施 に向けての検討 《概要》 男女共同参画都市宣言を実施する ための検討を行う。	新規		くらしの支援課	5	

### 主要課題3 男女におけるあらゆる暴力の根絶

施策の方向	具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効果
1 ドメスティック・バイオレンス防止に関する啓発活動の実施	28 ドメスティック・バイオレンス防止に関する啓発活動の実施 《概要》 ドメスティック・バイオレンスが人権侵害であることを踏まえ、防止に向けて取り組むための啓発活動を行う。	新規		くらしの支援課	5	
	29 ドメスティック・バイオレンスに関する調査研究情報の収集と提供 《概要》 ドメスティック・バイオレンスの実態や、暴力が子どもへもたらす影響について把握するため、関係機関による調査研究情報を収集し、提供する。	新規		くらしの支援課	5	

2	セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進	3 0 セクシュアル・ハラスメント防止についての意識啓発の実施 《概要》 セクシュアル・ハラスメント防止に向けたセミナー等を開催する。	新規		くらしの支援課	5	
		3 1 事業所等に対するセクシュアル・ハラスメント防止に関する啓発の実施 《概要》 事業所等におけるセクシュアル・ハラスメント防止対策の徹底について働きかける。	新規		経済課 くらしの支援課	5	

3 相談体制の整備	3 2 男女間における暴力に関する相談体制の整備 《概要》 ドメスティック・バイオレンス，セクシュアル・ハラスメント等に関し，女性の人権尊重を第一に考えた相談体制を充実する。	拡充	<p>育児健康相談，乳幼児健診の相談，こころの健康相談等の事業を展開する中で本人の訴えにより，対応する体制を取っている。</p> <p>直接的に訴えにくい内容のため，子育て相談等，他の目的で来庁した際も個別相談できる体制を整えている。（必要なケースは，面接後精神保健担当との連携により処遇を検討していく。）</p> <p>育児健康相談会 月 1 回 （実人数 1 3 7 人 / 3 0 1 件）</p> <p>乳幼児健診 各月 2 回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 ～ 4 ヶ月児健康検査 受診者数 4 6 3 人</li> <li>・ 1 歳 6 ヶ月児健康検査 受診者数 5 6 0 人</li> <li>・ 3 歳児健康検査 受診者数 5 4 6 人</li> </ul> <p>こころの健康相談 月 1 回</p>	保健センター	3	a , b , c , f
	3 3 人権相談の充実 《概要》 人権擁護委員による相談を充実させる。	継続	<p>生活に身近な事柄については，男性よりも女性の相談者の方が多い。市民が安心して日々の生活を送れるよう，関係機関との連携を図りながら対応している。</p> <p>女性の相談者からの相談内容は，「嫌がらせ」「養育費・生活費を入れてもらえない」「夫婦間の問題」などであった。</p> <p>相談（年 6 回実施） 相談件数 1 6 件</p>	<p>くらしの支援課</p> <p>くらしの支援課</p>	<p>5</p> <p>2</p>	a

<p>3 4 法律相談</p> <p>《概要》</p> <p>弁護士による相談を充実させる。</p>	継続	<p>相談（年 1 2 回実施）</p> <p>相談件数 8 9 件</p> <p>平成 1 8 年度より，県弁護士会による法律相談が守谷市商工会にて毎週実施される。</p>	くらしの支援課	3	i
<p>3 5 心の健康相談</p> <p>《概要》</p> <p>精神科医師，心理相談員，精神保健福祉士による人権，虐待を含めた相談及び関係機関との連携を図る。</p>	継続	<p>こころの健康相談として毎月 1 回開催（対人関係，うつ精神疾患，小児の発達相談など専門家による相談）その他，精神保健福祉士による，電話や面接の相談を随時実施した。</p> <p>相談実績 実人員 8 2 名</p> <p>相談内容 認知症・アルコール・社会復帰・思春期など</p>	保健センター	3	b
<p>3 6 相談業務に携わる市職員研修の実施</p> <p>《概要》</p> <p>問題解決に向けて，質の高い相談や情報を提供できるよう，相談業務に携わる市職員研修を実施する。</p>	新規	<p>相談業務及び市町村が行うセクシャル・ハラスメント防止研修の講師（指導者）として必要な知識や技能を習得するため，茨城県自治研修所で行われた「セクシャル・ハラスメント防止研修講師養成研修」を女性職員 1 名が受講した。</p>	総務課	2	g

<p>3 7 関係機関とのネットワークの整備</p> <p>《概要》</p> <p>国，県，被害者の保護にかかわる関係機関とのネットワークの整備を図る。</p>	新規		くらしの支援課	5	
<p>3 8 被害者の住民票の交付制限</p> <p>《概要》</p> <p>警察等で被害者に対して支援が必要と認められた場合に限り，加害者への住民票交付を制限する。</p>	継続	<p>警察等支援が必要と認められた被害者からの交付制限の申請を受けたことにより，住民票交付を制限している。</p> <p>各関係部署との連携を図っていく。</p>	総合窓口課	3	a



#### 主要課題4 メディアにおける人権の尊重

施策の方向	具体的事業	区分	実施状況	担当課	達成度	効 果
1 男女の人権を尊重した情報発信の推進	3 9 人権を尊重した表現の推進 にむけた啓発の推進 《概要》 男女共同参画の視点に立った情報の発信について、広報もりや・ホームページ等で啓発を行う。事業所等が発行する広報物等に対して人権への配慮がなされるよう働きかける。	新規		くらしの支援課	5	
	4 0 市広報紙・出版物におけるガイドラインの作成 《概要》 男女共同参画の視点に立った広報紙・出版物に関するガイドラインを作成し、男女の人権を尊重した適切な表現を行うよう配慮する。	継続	ガイドラインを作成している他市町村および都道府県を調べ、資料を収集した。	秘書課	4	a , c

	<p>4 1 市ホームページにおける人権を尊重</p> <p>《概要》</p> <p>市ホームページにおいて，男女の人権に配慮した情報を発信するよう努める。</p>	<p>継続</p>	<p>17 年 4 月からレイアウトを含めた全面リニューアルを図り，併せて高齢者・視覚障害者等や子どもにも平等に情報閲覧が可能なようにアクセシビリティ（日本工業規格（JIS）：アクセシビリティ JIS（JIS X8341 高齢者・障害者等配慮設計指針 - 情報通信機器・ソフトウェア・サービス：第 3 部ウェブコンテンツ）の確保（配慮）を図った。また，各情報ページは各担当課が作成することとしており，その情報表記においては，継続して各課の判断で人権を尊重した表現としているページ作成・編集を実施している。</p> <p>[アクセシビリティにおける外部評価機関によるチェック結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ W3C（World Wide Web Consortium）・・・（2005 年 9 月結果）良好</li> <li>・ WDG（Web Design Group）・・・（2005 年 10 月結果）良好</li> <li>・ Another HTML-lint・・・（2006 年 1 月結果）良好</li> </ul>	<p>企画課</p>	<p>2</p>	<p>g</p>
--	--	-----------	--	------------	----------	----------

2 情報を活用 できる能力 (メディア・ リテラシー) 向上の促進	4 2 広報紙・ホームページ等に おける情報活用に関する啓 発の推進 《概要》 広報もりや等を通して情報を活用 できる能力の向上に関する理解の 促進を図る。	新規		くらしの支援課	5	
	4 3 情報活用能力の育成と情報 モラル教育の実施 《概要》 インターネットをはじめとする 様々なメディアが社会や生活に及 ぼす影響を理解し、情報化の進展 に対応できる能力育成に努める。	継続	男女混合グループによるコンピュータを使った学 習を実施した。	指導室	2	c , g